

市民意見の概要とそれに対する本市の考え方

(参考) 区分について

- A 答申案に反映するもの(14件)
- B 答申案に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの(308件)
- C 活性化ビジョン推進に当たり、参考とするもの(170件)
- D その他、市政運営等で参考とするもの(13件)

全般

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
1	西陣の活性化に期待している。	2	B	本ビジョンでは、西陣を中心とした地域の有する魅力・資源を活かして、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進し、ひいては、京都全体の活性化につなげてまいります。
2	素晴らしい取組である。	3	B	
3	京都人が京都の素晴らしさを大切にしてほしい。	1	B	
4	活性化には、住んでもらうことが最も大切である。	1	B	
5	西陣という地名は覚えやすく、和の雰囲気伝わって良いと思う。	1	B	
6	資源と課題をわかりやすく提示され、それに対する解決策のアプローチもあり良いと思った。	1	B	
7	行政が関わることで、地域特有の文化を引き出し、外部と交流・発信する機会はとても重要である。	1	B	西陣の誇る資源と変革を繰り返して発展を続ける精神を最大限に発揮しつつ、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進してまいります。
8	文化を大切にし、継承していくビジョンを期待している。	1	B	
9	経済的な発展だけではなく、精神的な発展を意図するビジョンを策定してほしい。	1	B	
10	歴史・伝統などの継承の観点が強いので、消費喚起や雇用創出など、産業面等へ重点を置き、新しいものが生まれてくるビジョンとする必要がある。	4	C	
11	西陣織に固執し過ぎではないか。	1	C	
12	従来のきものの「西陣」だけでは将来は難しいのではないか。	1	B	
13	50年後を見透して、産業と交通と景観、それに市民生活に真の明さが予感できるビジョンを策定していただきたい。	1	B	ビジョンは、関係する各主体が「自分ごと」「みんなごと」で進めていくものであることから、誰にとってもわかりやすい内容となるよう、外来語への対応や写真の充実等も含めたビジョン冊子の見やすさなどに留意いたします。
14	外来語が多くてわかりにくい。	1	A	
15	資料やデータを見やすくしてほしい。	1	A	
16	冊子が分かりにくく、魅力を感じない。	1	A	
17	冊子のデザインに新規性を出せると良いのではないか。	1	A	西陣を中心とした地域は、「歴史・文化」、「ひと」、「町並み・交通」、「産業・商業・賑わい」、「ブランド」など、多彩なポテンシャル(資源)を有していることから広い分野にわたるビジョンとなっています。推進に当たっては、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、取り組んでまいります。
18	広範囲にわたり総花的な内容であり、優先・重点とする点を絞った方が分かりやすいのではないか。	2	C	

第一章（背景と目的、基本的事項）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
19	歴史・文化を活かしたまちづくりに賛成する。	1	B	本ビジョンにおいては、歴史・文化をはじめ、地域の有する多彩な資源を活用し、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進してまいります。
20	「自分ごと」として具体的に行動するためには5年、10年程度の間ビジョンが必要ではないか。	1	B	本ビジョンでは、概ね50年先を見据え、大きな将来像を描きながら、目の前の課題に対して今後約10年間で取り組むべき具体的方策をとりまとめ、幅広い分野の方々との役割分担の下、ひとつごとではなく、「自分ごと」「みんなごと」で進めてまいります。
21	ビジョンに示した「西陣を中心とした地域」の範囲の根拠が分からない。	1	C	西陣地域の明確な定義はないことから、いくつかの捉え方を参考に、「西陣を中心とした地域」としてグラデーションで表現しています。
22	西陣の範囲が分からない。	1	C	
23	西陣エリアの設定が広く、違和感を感じる。	1	C	
24	エリアを明確にした方が住民に「じぶんごと」と感じてもらえるのではないか。	1	C	
25	範囲を「東陣」まで広げず、「西陣」「東陣」として、多様性のある活性化ビジョン、方策を考えてみてはどうか。	1	C	本ビジョンにおいては、応仁の乱における「西陣」、「東陣」を含めた地域を「西陣を中心とした地域」として捉えており、エリア内の地域特性を踏まえながら活性化の方策に応じて、柔軟かつ効果的に捉えて、取組を進めてまいります。
26	広いエリアなので、ある程度地域別にビジョンを定めた方が、今後の方向性がはっきりするのではないか。	1	C	
27	「西陣を中心とした」ビジョンではなく、「元上京」活性化ビジョンとした方が、主役となる地域住民へ訴える力をもつのではないか。	1	C	西陣を中心とした地域については、西陣織を中心に職住一致・近接で形成されてきたものづくりのまちであること、現在の東山区から北区にまたがっていることから、本ビジョンにおいては「西陣を中心とした地域」として設定しています。
28	対象エリアを「（元）上京を中心とした地域」に変更してみてはどうか。	1	C	
29	新大宮商店街は西陣とも関係が深く、活性化に向けて元気のある商店街でもあるので、マップに記載してはどうか。	1	A	新大宮商店街は、グラデーションで表現している部分にも含まれているため、マップに追加します。

第二章（ポテンシャルと課題）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
30	課題の書き方について、前向きな表現になると良いのではないか。	1	C	第四章「実現のための11の方策」において、課題を踏まえた前向きな方策を示していることから、第二章においては、現状の記載としています。
31	西陣が経験してきた過去や背景の記載が不足しているのではないか。	1	C	過去や背景について第二章のポテンシャルと課題において、一定の記載をしていますが、活性化ビジョンの推進においても、過去や背景に留意しながら取り組んでまいります。
32	西陣は魅力がたくさんある地域である。	3	B	西陣を中心とした地域は、「歴史・文化」、「ひと」、「町並み・交通」、「産業・商業・賑わい」、「ブランド」など、多彩なポテンシャル（資源）を有しており、それらを活かした活性化に取り組んでまいります。
33	歴史の看板など表示が見やすく良い。	1	B	
34	京都は世界の文化的・技能的な教育機関となり得る。	1	B	
35	ものづくりやアートなどを手がける若者たちが、西陣地域に制作・活動拠点を求めている。	1	B	
36	観光客や新住民などでまちが元気になっている。	1	B	
37	西陣は地域の結びつきが強い。	5	B	
38	西陣は住みやすい町である。	4	B	
39	大学が集まる地域である。	1	B	
40	住人の高齢化が深刻な状況である。	1	B	
41	地域のつながりが薄れてきている。	1	B	
42	自治会の後継者がいないのが課題である。	1	B	西陣を中心とした地域の有する課題の解決に向けて、本活性化ビジョンの具体化に取り組んでまいります。
43	マンション住民が町内会に入れず、孤立する傾向にある。	1	B	
44	地域が結束すると強い面があるが、一歩間違えれば排他的になる可能性がある。	1	B	
45	空き家が多く、防犯上よくない。	1	C	
46	地域性として観光や商業に距離感があるのではないか。	1	C	本ビジョンの将来像を実現するための、柱Ⅲ「西陣で働き賑わいを生む」に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
47	住民はそれほど課題に悩んでいないのではないか。	1	C	推進に当たっては、住民をはじめ様々な主体の皆様と課題や将来像を共有し、取組を進めてまいります。

第三章（将来像）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
48	「つながりによる創造」という観点は重要である。	1	B	「つながりによる創造」と「変革によるまちの継承」という二つのキーワードに「温故創新・西陣」を加えたものを、将来を展望するコンセプトとして掲げ、活性化を進めてまいります。
49	新しいチャレンジが起こり、周りが受け入れることが必要である。	2	B	
50	昔からの良いものを継承するために新しいものを取り入れる姿勢はすばらしいと思う。	1	B	
51	新しく盛り上げることと、これまでの長所の継続の両立が必要である。	1	B	
52	「温故創新」のとおり、良いものを残しながら、新しいものを作り出していくことが重要である。	1	B	
53	文化の繁栄と活発な経済活動が必要である。	1	B	文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを進めてまいります。
54	将来像はもっと夢のある内容にならないか。	1	B	将来像は、ポテンシャルと課題を整理し、議論を重ねていく中で、設定したものです。西陣の魅力や資源を継承しつつ、新しい変化や取組も生み出していこうとするものであり、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進してまいります。
55	将来像で想定されている住民のイメージが分かりにくいので、将来人口や人口構成等を示してはどうか。	1	C	地域の現状として、上京区の人口は近年、微増傾向であり、高齢化率は長期的に増加傾向、また、人口の4割以上が居住期間10年未満の新しい住民という状況です。将来予測は難しい面がありますので、活性化を進めていくなかで、人口推移や構成等について留意してまいります。
56	誰のために文化を残すのか、しっかりと考えるべきである。	1	B	本ビジョンは、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進し、ひいては、京都全体の活性化につなげるための指針としています。西陣を中心とした地域に残る歴史や文化を、次世代の住民のため、また京都全体のために継承してまいります。
57	現状では、住みやすく、静かで穏やかなまちであり、奇をてらった仕掛けは不要である。	1	B	本ビジョンに掲げる将来像のうち、「京町家や路地空間が生活・仕事の場として継承・活用される、落ち着いた町並みの住みやすいまち」に向けて、取組を進めてまいります。
58	昔ながらの町並みが維持され、様々な人々が住むまちであると良い。	1	B	
59	「多様な人々」について、どのように「多様」なのかが分かりにくい。	1	B	職業、出身地、年齢など、多様な背景や価値観を持つ人々が、地域に集まり交流することで、新しい価値や賑わいが生み出されるまちを目指しています。
60	職住一体での生活を実践・体験できるものづくりのまちになってほしい。	1	B	本ビジョンに掲げる将来像のうち、「多様な人々が、地域の中で住み働き、交流する中で、絶えず新たな価値が生み出される、賑わいのあるまち」に向けて、取組を進めてまいります。
61	地域で働き、地域で子育てをするという、昔からの地域の良さを未来につなげてほしい。	1	B	
62	町が元気になってほしい。	1	B	
63	様々な人が「暮らしたい」と思うような町を目指すことは良いことだと思う。	1	B	本ビジョンに掲げる将来像のうち、「住民が自らの住む「西陣」に愛着や誇りをもって暮らし、地域外の人々に訪れたい、住みたいと思われるまち」に向けて、取組を進めてまいります。
64	主観的な将来像の達成度をどのように評価するかを示す必要がある。	1	C	本ビジョンでは、概ね50年先を見据えて大きな将来像を描きながら、今後約10年間で取り組むべき具体的方策を取りまとめています。実現に向けた11の方策を展開する中で、全体の進捗状況を確認しながら、取組を進めてまいります。

第四章（全般）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
65	将来像を実現するため、方策それぞれに対応する考えがあり良いと思う。	1	B	将来像を実現するため、分野別の3つの柱と、その取組を展開する基礎となる活性化の土台のもと、様々な主体が協力して取り組む11の方策を掲げており、連携・融合しながら、活性化を推進してまいります。
66	まずは活性化に向けた土台を固めることが必要である。	1	B	
67	資源を活かした活性化を進めてほしい。	1	B	
68	分野を融合させて取り組むことが必要である。	1	B	
69	住民の意識を変えるため、目に見える変化が必要である。	1	C	方策の展開に当たっては、目に見える変化を伝えるなど、学生や若い人等の様々な方に関わっていただくためのきっかけづくりの視点も持ちながら、取組を進めてまいります。
70	西陣はまとめたり、変えていくことが難しい地域なので、きっかけを作っていくことが重要である。	1	C	
71	変化や変革のイメージを強調する方が、学生や若い人が関わりやすいのではないか。	1	C	
72	人の意識を変えるには、地道ではあるが知ってもらう活動が大切である。	1	C	
73	実現のための方策について、実施主体や連携・融合の仕方、財源を具体的に示すべきではないか。	1	C	本ビジョンは、活性化の指針となる、取組の大きな方向性を示しており、各方策や推進項目に取り組むなかで、財源も含めた実施手法等について、具体化していきたいと考えています。
74	活性化のためにはしっかりと資金確保することが必要である。	1	C	
75	重点的に予算をかけて、あとに残る事業を実施してほしい。	1	C	
76	様々な団体を繋げ、組織をつくりながら、実行可能な企画を立案してほしい。	1	B	
77	ビジョンの策定にとどまるだけでなく、実行力のある取組を進めてほしい。	1	B	
78	事業は単発ではなく、長く続く企画を実施してほしい。	1	C	
79	クリエイティブな観点は伝統的な分野でも大切だと思う。	1	C	将来像を実現するための11の方策や推進項目の具体化を進めていくうえで、参考にさせていただきます。
80	伝統（技術、文化、生活）と経済のバランスが最も重要だと思う。	1	B	
81	地域が仲良くできるまちづくりを進めてほしい。	1	C	
82	地域性、文化性、経済性を備えた魅力あるまちづくりを進め、個性的な西陣産地を構築し、「生きたミュージアム構想」を提案する。	1	C	
83	世界的な「日本ブーム」は、長い目で見れば大きな財産であり、京都の町並みや庶民の生活文化を残していく道でもあると思う。	1	C	
84	上京区・西陣地区のさらなる産業振興と研究保全体制の維持のために、学芸機関整備等を進めてはどうか。その際は、施設と場の隣接性や地域と円滑な連携に留意する必要がある。	1	C	
85	西陣は利便性もよく、人が暮らす地域としてもっと見直されるべきであり、生活の視点をもっとビジョンに反映してはどうか。	1	B	本ビジョンを具体的に進めていくうえで、生活の視点や子育て環境などの視点も参考にさせていただきます。
86	子育て環境を良くしてほしい。	1	C	
87	幼稚園や保育所の充実、魅力ある小学校などがあれば、若い子育て世代が地域に根付き、活性化するのではないか。	1	C	
88	新しい産業・商業を模索しながら、次の世代へ「西陣の息吹き」を継承するため、この地域の気風を宣言する事業が必要ではないか。	1	B	本ビジョンでは、この地域の特性と気風を踏まえて、「つながりによる創造」と「変革によるまちの継承」温故創新・西陣」というコンセプトを設定しており、これを広く周知しながら、活性化に向けた取組を進めてまいります。

第四章（柱Ⅰ方策①）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
89	地域の歴史文化資源を有効に活用する必要がある。	1	B	歴史や文化に培われた多彩な魅力・資源を最大限に活かした取組を進めてまいります。
90	伝統や文化など、西陣の良いところを住民に体感してもらうのが効果的である。	1	B	
91	地域の歴史・文化を子どもに伝えていくことが必要である。	1	B	
92	子どもを対象とした各種取組（名所の発掘や写真コンテストなど）を実施してはどうか。	1	B	
93	小中学校で、五節句行事や和菓子、和装の体験など、文化を教えることが必要である。	4	B	
94	家庭では難しくなっているので、学校と連携し、子どものうちから伝統文化に慣れ親しむ機会を増やすことは大賛成である。	1	B	
95	子どもが文化に触れることで、親世代も巻き込んで良い循環ができるのではないかと。	1	B	
96	子どもがきものを着る機会があれば良いが、価格が高い。	1	B	
97	小学校の卒業式などではきものを着てはどうか。	2	B	
98	子どもに、普段着できものを着る機会を増やしてみてもどうか。	1	B	
99	文化が大切な理由も一緒に、子どもに伝えることが必要である。	1	B	子どもたちが学校や地域コミュニティ、家庭において和装をはじめとした和の文化に触れ親しむ機会の充実を図るなど、伝統文化への関心や理解を深めることができるよう取り組んでまいります。
100	京都らしい生活をする人がカッコいいという意識を若い世代に持ってもらえると良い。	1	B	
101	文化を根付かせるために、「日常」を支える働き盛り世代を対象に文化を学ぶ「場」と「機会」を提供することが重要である。	1	C	
102	年中行事は全てやろうとすると大変なので、手の届くことから実践することが大切である。	1	B	
103	和の生活習慣の定着に力を入れてほしい。	1	B	
104	地域の祭りがもっと盛り上がりしてほしい。	1	B	
105	今宮祭の活性化が必要である。	1	B	
106	簡易なお茶会を開催してはどうか。	1	C	
107	現代人の生活スタイルに合う形の文化を考えていくことが必要である。	1	C	
108	文化庁との連携に期待する。	1	B	
109	文化庁移転を意識づけるイベントを各地で行ってほしい。	1	C	文化庁の京都への本格移転に向け、機運・理解の醸成や受入環境の整備に引き続き取り組むとともに、文化庁や地域とも連携しながら文化振興に取り組んでまいります。
110	文化庁職員に京町家に住んでもらってはどうか。	1	C	
111	文化を掘り起こし、住民に継承することが重要である。	1	B	
112	西陣等に関する歴史講座や検定を実施してはどうか。	1	C	地域にあまり知られていない様々な歴史や文化の「物語」を、地域等と連携しながら掘り起こし、地域の資源として再認識されるよう取り組んでまいります。
113	船岡山の南辺りには歴史的な魅力があるので、掘り起こしてほしい。	1	C	
114	食をテーマに町を巡る企画をしてはどうか。	1	C	暮らしの文化の継承に向けて取組を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
115	歴史文化を学べる足の不自由な高齢者向けのまち歩きがあると良い。	1	C	
116	文化庁移転を機に、京都市に移ってくる関連団体と連携し、西陣の魅力を最大限に発揮してほしい。	1	C	

第四章（柱Ⅰ方策②）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
117	西陣にある伝統文化などの資源を最大限活用してはどうか。	1	B	歴史や文化に培われた多彩な魅力・資源を最大限に活かし、活性化を図ってまいります。
118	西陣は伝統文化が受け継がれている地域である。	1	B	
119	伝統文化・伝統芸能の「ほんもの」の魅力に触れる機会を日常的につくることが重要である。	1	B	茶道、和歌や能・狂言などの伝統文化・伝統芸能について、魅力を発信するとともに、住民等が身近に知り、鑑賞・体験できる機会づくりに向けて取り組んでまいります。
120	茶道を体験できる場所を増やすなど、推進してほしい。	1	B	
121	文化を伝える教室を開催しやすい施設があれば良い。	1	C	
122	「御所・宮中文化の再認識」は素晴らしい。	1	B	御所を中心に、暮らしの文化の源流にもつながる宮中文化が生まれ、また、歴史的に御所と密接につながりながら発展してきた地域であることを再認識し、地域に暮らす誇りの醸成と、文化継承につながるよう取り組んでまいります。
123	「御所文化」は欠かすことのできない文化であり、西陣織も御所があってこそその織物である。	1	B	
124	京都御所をもっと活用してはどうか。	1	B	
125	「御所文化」に焦点を絞って方策を実行してみてもどうか。	1	B	
126	五節句を日常に取り入れるなかで、正しい意味や流れを再確認してみてもどうか。	1	B	五節句行事等にスポットを当て、暮らしに根付いた文化の源流が宮中行事にあることを再発見することで、この地域に暮らす誇りの醸成にもつながるよう取り組んでまいります。
127	茶道などを残していくためには、新しい取組で楽しみながらできることが重要である。	1	C	伝統文化・伝統芸能の「ほんもの」の魅力に触れる機会づくりに向けた取組を検討していくうえで、参考にさせていただきます。
128	伝統文化・伝統芸能と最先端技術の融合で新しい価値を創出してはどうか。	1	C	

第四章（柱Ⅱ方策③）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
129	京町家を居住用として活用していくべきである。	1	B	地域の景観や生活文化を象徴する京町家や、地域コミュニティの場でもある路地の魅力を広く発信するとともに、子どもを育むことや、ものづくりなど、生活・仕事の場として活用されるよう取り組んでまいります。
130	路地の文化が大切である。	1	B	
131	京町家の次世代への継承と積極的活用を期待している。	1	B	
132	京町家を活かしたイベントや居場所づくりを進めてほしい。	1	B	
133	京町家を学習拠点や学生賃貸に活用してはどうか。	1	C	
134	町家を活かした飲食店が多くなれば良い。	1	C	
135	路地内空き家を「憩いの場」としてはどうか。	1	C	
136	ものづくりやアートを手がける若者とマッチングする仕組みを地域と協力して作ってみてはどうか。	1	C	
137	路地は子供を育てるには良い場所であるが、駐車場の確保が課題である。	1	C	
138	路地や京町家の活用モデル事例を作り、知ってもらうことが効果的である。	1	A	
139	コミュニティが豊かな路地が増えるためにも、良い事例がもっとあれば良い。	1	A	
140	京町家・路地は、空き家・既存不適格等の現行規制により扱いづらい面もあるので、前例にとられずに打開策を検討してほしい。	1	A	
141	町家が減り、歩いて楽しめなくなっている。	1	B	京町家の魅力発信を行うとともに、「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」に基づく取組等により、京町家の保全・継承に取り組んでまいります。
142	住人の高齢化に伴って町家の保存が難しい。	1	B	
143	若年層は利便性の観点で町家を取り壊す方も多く残念である。	1	B	
144	京町家を保全していく必要がある。	3	B	
145	京町家の維持が大変であり、残していける仕組みが必要である。	1	B	
146	空き町家の活用に補助金を設けてはどうか。	1	B	
147	西陣の京町家保全のためのネットワークがあればいい。	1	B	
148	町家の保全には、所有者に情報を届けることが重要である。	1	B	
149	京町家について、民間だけではなく行政も一定の役割を担い、保全のための優遇策や庭の確保の義務付けなどに取り組んでみてはどうか。	1	C	
150	西陣の町並みが残ってほしい。	3	B	
151	昔ながらの町並み、暮らしが西陣の良さであるので、あまり開発が進まない方が良い。	1	B	
152	京町家を活かして西陣の景観を保全することが大切である。	2	B	
153	新しく建つ建物を京町家と調和する外観にしてほしい。	2	B	
154	歴史的な町並みの中にモダンデザインの建造物をつくってはどうか。	1	C	
155	重要伝統的建造物保存地区指定は難しいと思うが、取り組んではどうか。	1	C	
156	路地が多く、安全面で不安である。	1	B	安心して暮らし続けられるよう、地域と連携し、路地の魅力を活かしながら安全性の向上及び良好な住環境の確保を図る防災まちづくりに取り組んでまいります。
157	路地の防災・安全面の取組をさらに進める必要がある。	1	B	

第四章（柱Ⅱ方策④）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
158	歩いて楽しめるまちになれば良い。	3	B	町並みと調和した道路整備、ものづくりの産地が感じられる沿道の設え、通りの景観や植栽など、住民や来訪者がまちの雰囲気を楽しみながら歩くことができる環境づくりに向け、取り組んでまいります。
159	町並みと調和した道路整備、歩きながら古き良き町並みを感じられる取組は、観光客だけでなく、住民にとっても良い取組である。	1	B	
160	織機などが歩きながら見られるようになれば良い。	1	B	
161	緑化や町並み整備が必要ではないか。	1	B	
162	北野白梅町駅など、鉄道とバスの乗り継ぎ利便性を向上させる必要がある。	3	A	本エリアにおいて運行されている鉄道やバス等公共交通の乗継利便性を向上させることは重要であり、活性化ビジョンに記載します。
163	交通アクセスや利便性が良くない。	5	B	住民や来訪者の利便性向上のため、バスや鉄道等の公共交通アクセスの向上に向け、取り組んでまいります。
164	交通アクセス向上が必要である。	1	B	
165	アクセスが良くないので、交通網の整備が必要ではないか。	1	B	
166	京都・西陣にふさわしい公共交通網の整備を要望する。	1	B	
167	自転車で移動できるコンパクトな地域を打ち出すのに賛成で、シェアサイクルを推進する必要がある。	1	B	民間事業者によるシェアサイクルの充実等により快適で便利な移動環境の実現を目指してまいります。
168	シェアサイクルのポートを京町家に設けてはどうか。	1	C	
169	シェアサイクルのポートはアクセスのよいところに設置すべきである。	1	C	
170	観光客向けの自転車貸し出しスポットを要所に設けてはどうか。	1	C	
171	コミュニティバス路線を設けてはどうか。	1	C	バスや鉄道等の公共交通の利便性向上をはじめとした交通環境の向上によって便利に移動できるまちづくりに取り組むうえで、参考にさせていただきます。
172	西陣を周遊するバスを設けてはどうか。	2	C	
173	電車を走らせてはどうか。	2	C	
174	今出川通にLRTを走らせてみてはどうか。	3	C	
175	LRT運行を記載するなど、遠い未来を見据えた取組を進めるべきではないか。	1	C	
176	LRT導入には反対である。	1	C	
177	交通環境整備と景観のバランスを調整する必要がある。	1	C	
178	バスが連なって走っているので、減らして、すっきりとした町にしてほしい。	1	C	
179	地下鉄駅や寺社等のバリアフリー化と案内充実が必要である。	1	C	
180	バスのバリアフリー化を進めてほしい。	1	C	
181	高齢者・障害者が容易に移動できるまちづくりに取り組んでみてはどうか。	1	C	
182	バスが混雑しているので改善してほしい。	3	C	住民、観光客双方にとって、より便利で快適にバスを利用できるように取組を進める上で、参考にさせていただきます。
183	駐輪場の整備が必要である。	1	C	自転車で移動できるコンパクトな地域であるポテンシャルを活かすために、「京都・新自転車計画」も踏まえ、便利に移動できるまちづくりに取り組むうえで、参考にさせていただきます。
184	公共の駐輪場が多くあると良い。	1	C	
185	自転車道を整備してほしい。	1	C	
186	自転車利用者にとって、車が危ないと感じることが多い。	1	D	
187	自転車レーンの利用の徹底が必要である。	1	D	
188	自転車の安全走行が必要である。	1	D	

第四章（柱Ⅲ方策⑤）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
189	西陣地域の伝統文化は、長期にわたる織物業とその関連業者の経済活動の蓄積があつての賜である。	1	B	西陣を中心とした地域の活性化のために、西陣織をはじめとした伝統産業の振興に取り組んでまいります。
190	西陣地域は織物業の発達で発展した、言わば職人のまちだと思ふ。	1	B	
191	この地域の活性化には西陣織等の伝統産業の活性化が必要である。	8	B	
192	過去にあった伝統産業ではなく、未来も社会に生き続ける文化としての生活産業の側面に焦点を当てたビジョンにしてほしい。	1	B	
193	西陣織産地の危機的な状況を踏まえて、他の政策とも融合させたビジョンを策定していただきたい。	1	B	
194	きものを着る機会がなくなった。	1	B	普段から和装に親しみ、身近なものとするため、毎月特定の日をきもので過ごす日に設定するなど、きものを着る機運の醸成を図るとともに、様々な場面できものを着る機会が増えるよう取り組んでまいります。
195	日常的にきものを着ることを推進してはどうか。	3	B	
196	普段からきものを着るため、日を決めてきものを着てはどうか。	2	B	
197	まずは住民向けに、きものパスポートの仕組みを大々的にできないか。	1	C	
198	若い人が楽しんできものをアレンジできる場を作してほしい。	1	C	
199	和装振興としてライブ等のイベントを開催してはどうか。	1	C	
200	ほんもののきものを安くレンタルできないか。	1	B	
201	ほんものの西陣織のきものをレンタルしてはどうか。	2	B	
202	きものの貸し出しが、西陣で広がればいい。	1	B	
203	きもの着用特典やきものレンタルの充実をしてはどうか。	1	B	
204	外国人にきものなどを体験してもらう機会を増やせばどうか。	1	B	
205	きものが似合う町を目指し、ウェブやSNSを活用してはどうか。	1	B	
206	和装で話題のスポットを回ることができれば、町が賑わってくると思う。	1	B	
207	消費者の相談にのり、ちゃんとした和装品を伝える「なんでも和装相談」を設置してはどうか。	1	C	
208	和布を活用した服をつくってはどうか。	2	C	
209	裂地を保存継承するため、用途を拡大してはどうか。	1	C	
210	つくり手と使い手のコミュニケーションが大切である。	1	B	工房等で製作の様子を見学し、体験し、製品を購入できる仕組みづくりなどにより、国内外の多様な消費者と産地・つくり手の繋がりが強化されるよう取り組んでまいります。
211	子どもの頃から、つくり手との交流やものづくり体験が大切だと思ふ。	1	B	
212	西陣織関連の工場見学をしてはどうか。	1	B	
213	若者が見学できる西陣織の工房が増えてほしい。	1	B	
214	職人や工房をイラストで紹介する冊子を作ってみてはどうか。	1	C	つくり手の職人が注目され、評価されるよう取り組むうえで、参考にさせていただきます。
215	学校跡地で西陣織の各工程の見学ができるようにしてはどうか。	1	C	学校跡地活用の制度に則り、地域の意向等にも配慮しながら、活性化に資する活用を検討する上で、参考にさせていただきます。

216	西陣関連業界の衰退で、元気・活力がない。	1	B	西陣織工業組合による関連工程等も含めた地域組合を目指す動きや分業制の再構築など、関係団体とも連携しながら、西陣織を西陣で生産し続けられる体制づくりに向け、取り組んでまいります。	
217	西陣での機音が消えようとしている。	1	B		
218	西陣織業界で起こっている問題を解決する体制や仕組みを作り、それを行政が支援することも必要である。	1	B		
219	西陣織産業の存続が危ぶまれていることについての認識が弱いのではないか。	1	C		
220	西陣織の分業制は危機的な状況であり、後継者育成など早急な対応が必要である。	3	B		
221	分業化された零細事業者の保全と技術の継承のために、財政的な支援が必要である。	1	C		
222	織機のメンテナンスをできる技術者や会社がいっなくなってもおかしくない状況である。	1	B		
223	流通を改革し、販売額の多くが流通経費にならない仕組み作りが必要である。	1	B		
224	取組が産地組合任せになっており、緊急対策の具体化、未来を見据えた振興策の両面での提案が必要ではないか。	1	C		
225	第8次西陣産地振興ビジョンの具体化が必要である。	1	C		
226	西陣織のブランドを厳格に管理する必要がある。	1	C		
227	職人が高齢化しており、後継者を生み出すことが必要である。	4	B		次世代へ引き継ぐための担い手育成、西陣織の技術を活かした製品開発等の新たな展開等が推進されることで、世界に誇る「西陣織」を西陣で生産し続けることができるよう取り組んでまいります。
228	職人の手間賃の大幅な向上が必要である。	1	B		
229	伝統産業を若者にPRするとともに、担い手が生活していける環境づくりが必要である。	1	B		
230	障害者が伝統産業の担い手として活躍できるよう、伝福連携に取り組むべきである。	2	C		
231	西陣織の新しい製品開発で需要喚起が必要である。	1	B		
232	西陣織を現代風にアレンジしてはどうか。	1	B		
233	手に取りやすい商品の開発も西陣織には必要である。	1	B		
234	帯幅の織機を幅広く転換する設備投資が必要である。	1	C		
235	西陣などの小学校跡地を活用して、西陣織の職人育成に取り組んでみてはどうか。	1	C	学校跡地活用の制度に則り、地域の意向等にも配慮しながら、活性化に資する活用を検討する上で、参考にさせていただきます。	
236	西陣織の優れた点をもっとPRして、知識を深めてもらうことが必要である。	2	C	西陣織をはじめとした伝統産業の振興に取り組むうえで、参考にさせていただきます。	
237	行政主導でなく、自分たちで西陣織を活性化するという気概を持ってほしい。	1	C		
238	西陣織を残すため、京都市がリーダーシップを発揮してほしい。	1	C		
239	地域イベントで西陣織製品を販売してはどうか。	1	C		

第四章（柱Ⅲ方策⑥）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
240	新しい産業を起こして、地域に住み、働く人を増やすことが必要である。	6	B	ものづくりの文化が息づく風土を活かしながら、新たなものづくりや価値創造、起業が生まれるよう、クリエイティブな人、事業者、アイデアを呼び込み、多様な人の交流を創出してまいります。
241	ものづくりを行う事業に財政的支援があればよい。	1	C	ものづくりのまち西陣の地において、ものづくりやデザイン分野に従事する人や若者等が、起業し事業を成長させていく仕組みを、民間の力を最大限活用して構築を進めるにあたり、参考にさせていただきます。
242	小学校跡地で産業の拠点づくりに取り組んではどうか。	3	C	学校跡地活用の制度に則り、地域の意向等にも配慮しながら、活性化に資する活用を検討する上で、参考にさせていただきます。
243	クリエイターと西陣織を結び付けていくことが重要である。	1	B	ものづくりの文化が息づくクリエイティブなまちであり、新たな事業創出が図られていることを戦略的にPRすることで、クリエイティブな人や事業者を呼び込み、移住・移転等につながるよう、取組を進めてまいります。
244	ベンチャー企業が進出した場合の成功例を作り、活性化を進めてはどうか。	1	B	
245	クリエイティブな人、事業者の呼び込みは、深く共感する。様々な作家が西陣にいますので、西陣ブランドとかけ算できるような取組を実施してほしい。	1	B	
246	デジタル技術を学び、食べていける環境を整えることで、若者が西陣で暮らすようにしてはどうか。	1	B	
247	「クリエイティブな人」とは、どのような人を指すのか不明である。	1	C	
248	「クリエイティブな人」の呼び込みが地域活性化につながる論拠が不明である。	1	C	西陣において、ものづくりや創造的な活動をしている人や事業者の交流により、ものづくりのまちとしてのブランドイメージを高め、更なる交流を生み出す取組を進めてまいります。

第四章（柱Ⅲ方策⑦）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
249	商店街が寂れてきた。	1	B	多くの地域住民が集まり、情報や人の交流を生み出すことで、地域コミュニティの核となるよう、商店街の振興に取り組んでまいります。
250	商店街が元気になってほしい。	1	B	
251	商店街が寂れているので、PRをもっとしてほしい。	1	B	
252	地域コミュニティの核として、会話しながら買い物できる商店街が必要である。	4	B	
253	商店街の各主体の活動を連携させていく必要がある。	1	B	
254	昔からある家庭の食文化を伝承するお店を作ってはどうか。	1	B	食文化をはじめ、暮らしの文化の知恵を、より深く知ることができるお店など、地域コミュニティの核として、ふれあいを大切にする商業の振興に向け、取組を進めてまいります。
255	町家を活用したカフェなどは、若者に伝統を伝える良い場だと思う。	1	B	
256	良いお店がポツポツしかない。	1	B	空き店舗と出店希望者とのマッチングなどにより、空き店舗対策に取り組んでまいります。
257	飲食店が少ない。	1	B	
258	賑わい施設や飲食店が増えてほしい。	1	B	
259	お店が増えてほしい。	3	B	
260	それほど量が売れなくても成り立つお店を集積させることがこの地域には必要である。	1	C	新たな客層を呼び込める魅力的な店舗の集積に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
261	若者の知恵を借りて、かつての映画館「千本座」の跡を活用できないか。	1	C	
262	ゲストハウスの観光客を商店街に呼び込めばどうか。	2	C	来訪者を惹きつける魅力ある商業の振興に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
263	若者が多いので、おしゃれな町家カフェをつくり、SNSによる発信効果を狙ってはどうか。	1	C	
264	千本商店街を観光客の食べ歩きが楽しめるようにすればどうか。	1	C	
265	堀川商店街に外国人観光客を呼び込んではどうか。	1	C	

第四章（柱Ⅲ方策⑧）

意見概要		件数	区分	本市の考え方
266	活性化を考える上で観光は必要である。	3	B	この地域においては、西陣が歴史的に形成し、継承してきた文化や産業などの「ほんもの」に触れる観光がふさわしいと考えており、住民生活とも調和し、観光客にも満足度の高い観光を推進してまいります。
267	静かで京都らしさを感じられる観光がふさわしいと思う。	1	B	
268	大勢の観光客が来ると困る。	1	B	
269	インバウンドを大量に呼び込むことには賛成できない。	1	B	
270	観光客に、住民が大切にしてきた心を伝え、生活者と観光客がより良く交流することを、観光の新しいモデルケースとしてはどうか。	1	B	
271	ゴミの問題があり、この地域に観光は不要である。	1	C	
272	民泊に対して対応を考えていく必要がある。	1	C	
273	民泊など問題が多いので、観光ではなく市民生活を重視してはどうか。	1	C	
274	民泊利用者が迷っているので、きちんと民泊の表示をしてほしい。	1	C	
275	民泊施設があることで、地域が活発になるようにするなど、民泊をうまくコントロールする仕組みづくりを検討してみてもどうか。	1	C	
276	民泊が増えて、ゴミが決まった日以外に出されている。	1	C	
277	町家を活かした宿泊施設は歓迎するが、ホテルの進出は規制するべきである。	1	C	
278	西陣織の体験ができる場所が増えてほしい。	1	B	西陣が歴史的に形成し、継承してきた文化や産業などの「ほんもの」の魅力を知り、体験し、感じられる観光を推進してまいります。
279	西陣織の体験は、外国人を中心に流行するのでは。	1	B	
280	「ほんもの」に触れることができるお店を増やす必要がある。	1	B	
281	ものづくりや文化体験等ができるのは地域の活性化に良いと思う。	2	B	
282	空き家に一定期間滞在できる体験型施設を設け、外国語による解説・情報発信をしてはどうか。	1	B	
283	歴史や文化を軸に集客していければ良い。	1	B	
284	隠れた文化遺産を活用し、観光客等の呼び込み、賑わい創出が必要である。	1	B	
285	宿泊だけの場所ではなく、西陣の魅力を感じてもらわなければならない。	1	B	この地域においては、観光客の回遊性の低さが課題であり、ガイドツアーやマップ等により、エリアを回遊しながら魅力を感じていただける観光を推進してまいります。
286	回遊しながら歩いて観光できる仕組みや情報を整える必要がある。（ルートの設定、マップ、案内標識、ガイドなど）	6	B	
287	西陣を案内できる若いガイドが増えれば良い。	1	B	
288	通訳ガイドや案内標識の多言語化が必要ではないか。	1	B	
289	西陣ではまち歩きの観光がふさわしいと思う。	3	B	この地域には、知られていない資源が多くあることから、SNSも含めて様々な形で、魅力を発信してまいります。
290	観光客向けに西陣の活性化を意識したウェブサイトを開設してはどうか。	1	B	
291	観光分野でSNS等を有効活用して情報発信してはどうか。	2	B	
292	知られていない西陣の魅力の情報発信が必要である。	2	B	

293	観光バス等を止める場所が少ない。	1	C	この地域にふさわしい、「ほんもの」に触れる観光を推進していくうえで、参考にさせていただきます。
294	観光客向けの地域の窓口となる拠点が必要である。	2	C	
295	観光案内所をつくってはどうか。	1	C	
296	西陣織会館を起点に観光案内所の設置や地域を巡回する車両を導入してはどうか。	1	C	
297	北野天満宮の南側辺りに、駐車場やイベントスペースを作り、観光面の活性化の核にしてはどうか。	1	C	
298	観光地としては魅力的ではない。	1	C	この地域にふさわしい形で、観光の新たな魅力の創出に取り組むうえで、参考にさせていただきます。
299	ライトアップをすれば観光客の夜の外出にも良いのではないか。	1	C	
300	観光客がゆっくり過ごせる場を作れば、経済の活性化につながるのではないか。	1	C	
301	芝居小屋をつくってはどうか。	1	C	

第四章（土台Ⅳ方策⑨）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
302	「西陣」は、非常に京都らしいブランド力がある。	1	B	地域の持つ技術力やものづくり、歴史・文化などといった複合的な西陣のブランド価値が、地域内外に共有されるよう取り組んでまいります。
303	西陣織には、日本、世界で通じるブランド力がある。	2	B	
304	西陣のイメージが分かりづらい。	2	C	
305	西陣の魅力を広くアピールすることが必要である。	3	B	
306	西陣の技術力は非常に高く、もっと世界に発信していくべきである。	2	B	
307	「MADE IN 西陣」というブランド力が、ものづくり全体に拡がればよい。	1	C	
308	ネット宣伝や広告など、インパクトある広報活動が必要ではないか。	1	B	
309	ブランド向上が必要である。	1	B	
310	西陣に共通するイメージがあれば良い。	1	B	
311	エリアのイベント情報を外国人も含めて広く発信することが必要である。	3	B	
312	「西陣」それ自体がブランドとして高い複合的、総合的価値を持っており、それを共有し、継承していくことが土台である。	1	A	西陣ブランドは、西陣織だけではなく、生活や文化と、産業が一体となった複合的な価値を持っていることを、地域内外に共有することにより、活性化を図るうえでの土台として機能する旨に記載を改め、取組を進めてまいります。
313	「ブランド化」は取組の結果できるものであり、「活性化の土台」としては違和感がある。	1	A	
314	西陣ブランドは生活と産業が一体となった複合的なものではないか。	1	A	
315	日本における総合芸術である茶道の御茶会等を開催すれば、総合的な文化・産業発信になるのではないか。	1	C	西陣のブランド価値の共有を進めていくにあたり、参考にさせていただきます。
316	西陣のマスコットを作ってはどうか。	1	C	
317	バス停に西陣という名前を加えてはどうか。	1	C	
318	西陣の歌をつくってはどうか。	1	C	
319	若者等に対して、SNSを活用した魅力発信を充実してはどうか。	3	B	西陣の魅力の戦略的情報発信を進めていくにあたり、SNSや魅力あふれる写真等の活用を進め、若者を含めた多様な人々に西陣の魅力や価値が共有されるよう取り組んでまいります。
320	魅力発信に写真を効果的に使ってはどうか。	1	B	
321	自分の暮らしている西陣のことを友達に自慢できるようにもっと歴史を知っていきたい。	1	B	地域に暮らす住民が、自らの住む地域のことを知り、誇りを持って暮らすことができるよう、取組を進めてまいります。

第四章（土台Ⅳ方策⑩）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
322	訪れたい、住みたいと思うものが必要である。	1	B	活性化の核となる拠点等も含めて、西陣の有する空間資源の有効活用を検討してまいります。
323	中心となる拠点が必要である。	1	B	
324	活性化のためには、核となるスペースを作る必要がある。	1	B	
325	知られていない京都の歴史や建物の有効活用をもっと進めてみてはどうか。	1	B	
326	核となる施設や通り沿いを集中的に開発し、西陣のエリアブランドを強化してはどうか。	1	C	
327	北野天満宮や、今宮神社など歴史や文化を感じられる場所を中心に街区整備を要望する。	1	C	
328	小学校跡地を有効活用できると良い。	1	B	
329	小学校跡地の活用は、地元の想いを尊重してほしい。	1	B	
330	元小学校の跡地の活用を早く進め、地域体育館がほしい。	1	C	
331	小学校跡地をコミュニティスペースにしてはどうか。	1	C	
332	小学校跡地に、知的障害者の通所&入所施設として活用してはどうか。	1	C	
333	西陣小学校跡地を西陣創造中心（NISHIJIN CREATIVE CENTER）として「地域活性化」と新しいNISHIJINの共同性構築の場として活用してはどうか。	1	C	
334	旧西陣小学校を情報発信拠点としてはどうか。	1	C	
335	船岡山を魅力スポットとして打ち出す必要がある。	1	B	歴史や眺望景観、自然環境など、多様な魅力を持つ船岡山については、さらなる魅力向上を図ってまいります。
336	船岡山の歴史的価値の発信や市内を見渡せる眺望を復活させることは大賛成です。	1	B	
337	歴史があり、大人も子どもも楽しく過ごせる船岡山公園を大切にしてほしい。	2	B	
338	子どもたちが楽しく遊べる場所が少ない。	1	C	活性化ビジョンの具体化に取り組んでいくうえで、参考にさせていただきます。
339	地域の子どもが遊べる公園や場がなく困っている。	1	C	
340	マルシェを各地の公園で開催してはどうか。	1	C	

第四章（土台IV方策⑪）

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
341	方策を実行する担い手が少ないのが大きな課題である。	1	B	ビジョンの推進に当たっては、これまで地域や様々な取組等に関わりが少なかった主体（若者や外国人等）を掘り起こし、新たな担い手の創出に向けて取り組んでまいります。
342	町内会が十分に機能しない中で、地域の力で活性化は難しいと思う。	1	C	
343	若者に興味を持ってもらうことが課題である。	1	B	
344	まちづくりに対する住民の温度差がある。	1	B	
345	地域・学区に若者が関わる仕組みが必要である。	5	B	
346	地域のイベント等を通して、次世代が育ち、将来の担い手となってほしい。	2	B	
347	学生よりも、地域に住む若い世代に関わってもらうことが大切である。	1	B	
348	想いのある若者や新住民が関わりやすい雰囲気をつくる必要がある。	2	B	
349	新住民、外国人、観光客など新しい人を取り込む必要がある。	4	B	
350	高校とも連携してはどうか。	1	C	
351	学生の力を情報発信等に活用してはどうか。	2	B	近隣に大学が多く立地し、学生が多い地域性を活かして、活性化の新たな担い手創出が図られるよう、取り組んでまいります。
352	大学と連携して、学生が地域に目を向ける仕組みを作してほしい。	1	B	
353	近隣大学が相互交流し、学生の力と「知」の相乗効果を西陣で図ってはどうか。	1	C	
354	学生の地域参加を促すには学生のメリットが必要である。	1	C	
355	外国人留学生の人材を活用して、地域の活性化につなげてみてはどうか。	2	B	
356	外国人大学生と地域の子どもの交流の場を作り、多文化・異文化体験活動を積極的に行ってほしい。	1	B	
357	大学生や若い世代に住み続けてもらうことが必要である。	1	B	
358	子どもに歴史や産業を教え、誇りを持ってもらうことが必要である。	1	B	地域の将来を担う子どもたちが、西陣の歴史や産業を学び、誇りを持つことは、将来の活性化を支える人づくりにつながるものであり、活性化ビジョンのもと、推進してまいります。
359	高齢者が活躍できる場が増えると良い。	2	B	知恵と経験豊富な高齢者の存在が一つのポテンシャルであり、活性化の推進に当たっては、高齢者の知恵と経験が発揮されるよう、取組を進めてまいります。

第五章

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
360	ビジョン策定後に具体的に何をやっていくかが重要である。	1	B	活性化ビジョンの策定後は、ビジョンに盛り込んだ方策について、多様な主体の協働のもと、取組を進めてまいります。
361	「自分ごと」として、住民自らが活性化の意識を持ち、みんなで進めていくことが必要である。	5	B	活性化ビジョンの将来像を市民や地域、事業者、大学、行政等が共有する中で、それぞれが「自分ごと」「みんなごと」として進められるよう、取り組んでまいります。
362	住民の関心を高め、理解・協力してもらうことが必要である。	2	B	
363	継続的な活性化につながるよう住民や企業と連携したビジョンの遂行が必要である。	1	B	
364	行政の役割を鮮明にしたうえで、地域や産地の力を結集してみてもどうか。	1	B	
365	職人、商人、消費者（生活者）、デザイナー、芸術・芸能家、知識人、自治体などが、特徴を生かしあうネットワークを組むことが大事である。	1	B	
366	様々な活動団体を網羅した連携の窓口となる組織が必要ではないか。	1	C	活性化ビジョンの推進に当たっては、ビジョンのエリアや分野が広いことから、各推進主体をゆるやかにネットワーク化しながら、連携、融合による活性化の取組を着実に推進してまいります。
367	地域活性化ビジョンを動かし繋ぐ中心人物を決めてはどうか。	1	C	
368	本当に10年間も取組が続くのか。	1	C	
369	中長期にわたって推進するなら、市民もまきこんだ組織が必要ではないか。	1	C	
370	推進体制があいまいであり、実現へ向けてのアプローチが不明である。	1	C	
371	行政区をまたがるので区間の連携が必要である。	1	B	市役所内における活性化ビジョンの推進に当たっては、関係する局区が連携して、取組を進めてまいります。
372	統合学区における世代間の繋がりをしっかり作らないといけない。	1	B	ビジョンの推進に当たっては、様々な場面でつながりを創出しながら、取組を進めてまいります。
373	担い手の高齢化、プライベート重視の考えにより、地域づくりを協働で進めることは困難だと思う。	1	C	活性化の新たな担い手を創出しながら、活性化ビジョンの将来像を市民や地域、事業者、大学、行政等が共有する中で、それぞれが「自分ごと」「みんなごと」として進められるよう、取り組んでまいります。
374	未来の産業を考えるうえで必要なAI、IoT、オープンイノベーションなどの言葉や概念が出てきていない。	1	B	活性化の実現に向けて、ICTをはじめとする技術革新等も西陣ならではの方法で取り入れ、新たな西陣の未来を切り拓くまちづくりを進めてまいります。

その他

	意見概要	件数	区分	本市の考え方
375	人を呼び込むには、子育て環境の充実も必要ではないか。	1	C	活性化ビジョンを推進する上で、参考にさせていただきます。
376	コミュニティ事業を進める必要がある。	1	C	
377	新しい戸建群の開発やマンションの建設など新しさも求めるべきではないか。	1	C	
378	外国人観光客に交通マナーの教育が必要である。	1	C	
379	季節ごとに色々な地域のイベントをしてほしい。	1	C	
380	障害者支援の観点のイベントを実施してほしい。	1	C	
381	無農薬野菜の朝市やリサイクル・不用品市をしてほしい。	1	C	
382	「ほんもの」ではなく「ほんまもん」の方が、良いのではないか。	1	C	
383	市の活性化政策は、市内中心部にしか着目していないのではないか。	1	D	市内中心部から山間地域まで、各地域の資源やポテンシャルを活かし、個性と活力あふれるまちづくりを推進してまいります。
384	安心して住むために、夜間のパトロールを行ってほしい。	2	D	引き続き、京都府警察等の関係機関や地域と連携し、安心安全なまちづくりに取り組んでまいります。
385	高齢者にやさしいまちづくりを進める必要がある。	1	D	高齢者施策を総合的に推進する「京都市民長寿すこやかプラン」など、市政運営を行う中で参考にさせていただきます。
386	路上喫煙対策もビジョンに入れてほしい。	1	D	「京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例」に基づき、取組を進める上で、参考にさせていただきます。
387	西陣一帯を屋外禁煙にしてはどうか。	1	D	
388	受動喫煙防止策の強化を望みます。	1	D	平成30年7月に公布されました「健康増進法の一部を改正する法」（改正健康増進法）に基づき、受動喫煙を無くす取組を進めてまいります。
389	学生など、マナーが守られていないので、ルールをしっかりと周知してほしい。	1	D	市政運営等を行う中で参考にさせていただきます。
390	子どもの医療費の上限額を引き下げてほしい。	1	D	
391	電柱の上の動力トランスが錆びついており、景観面、安全面で問題である。	1	D	